

## 金城ヨシヒデだより



名護市議会議員 金城善英 議会報告



ごあいさつ

新緑が輝き草花がにぎやかに咲き誇っています。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

第3回名護市議会市民意見交換会が2月14日(火)に名護、羽地、屋部、久志地区の4カ所で開催されました。(屋我地地区は、昨年11月30日(水)に開催)今回、第一部では、予め事前アンケートで頂いた各地域の課題に対する議会からの報告を行い、第二部では議会に関する意見交換を行いました。その中で名護地区では、特に議員定数について、議員(7名)の考え方や参加者のご意見など活発な意見が交わされました。その後、3月定例会最終日の3月24日には、市民意見交換会やこれまで議会運営委員会での議論・検討を重ね、

採決の結果、議員定数を24名とする答申が本会議において報告されました。その後、名護市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について、議員定数を26名とする修正案が議員提出され、質疑、討論、採決の結果、可決同数となり、議長採決により修正案が可決されました。これにより来る名護市議会議員選挙から適用されることとなります。皆様の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

## 議会報告



金城善英 HP

第186回名護市定例会(3月定例会)は、平成29年3月2日から3月24日までの会期で行われました。平成29年度施政方針が示されるとともに名護市一般会計予算を含む市長提出議案11件、報告1件、また、追加議案として平成28年度名護市一般会計補正予算(第7号)を含む議案9件、陳情1件、議員提出の意見書案2件、決議案1件が審議されました。陳情1件につきましては、常任委員会へ付託されました。そのほか審査の結果につきましては名護市議会ホームページか「なご市議会だより」第111号(6月初め配布)の議案処理結果一覧をご覧ください。

## 3月定例会一般質問から要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

## 一、市民福祉行政について

質問(1) 障がい者(児)支援について

障がい者等が地域で安心して生活ができるための支援体制を確立することを目指す、中核的な役割を担う障がい者(児)基幹相談支援センターの設置について ア、現在の支援体制の課題について イ、基幹相談支援センターの役割やメリットについて

答弁 ア、委託している相談事業所が北部圏域の他町村からも委託されており、時期によっては迅速な相談支援につながる事例がある。イ、役割は障害の種別や各種ニーズに対応する「総合的・専門的な相談支援の実施」、「地域移行・地域定着促進の取り組み」などで、メリットは障がい者及びその支援者を支える仕組みづくりが可能となる。

質問(2) B型肝炎ワクチンの定期予防接種について

第184回9月定例会で取り上げましたが、乳児にB型肝炎ワクチンを接種すると95%以上で抗体が獲得するとされる重要な予防接種であります。昨年平成28年4月1日以後に生まれた0歳児が対象で生後1歳未満が対象年齢とされる予防接種が昨年10月1日から始まりました。そこで、ア、実施状況について イ、対象年齢拡大について

答弁 ア、平成28年10月1日から定期予防として実施し接種率は91%です。イ、接種期間を延長して取り組んでいます。

質問(3) 妊婦健康診査の公費助成について ア、公費助成の内容について イ、受診率について ウ、県外から里帰りして出産する妊婦への対応について

答弁 ア、妊婦健康診査費用の一部を14回助成しています。イ、77.4% ウ、住民票のある市町村の制度により取り扱われています。在住市町村と医療機関との間で委託契約がなされると、費用は行政に請求されます。

## 二、子ども家庭行政について

質問(1) 放課後児童クラブ支援について

ア、公的施設に設置することについて イ、全国平均の利用料並に軽減することについて

答弁 ア、公的施設の活用や利用対象児童の小学校隣接地や近隣施設の活用も検討したい。イ、保護者負担料の高い要因について検証をしながら軽減の方策を考えたい。

質問(2) 保育施設への待機児童ゼロに向けた取り組みについて

ア、待機児童の実態について イ、認定こども園のメリットについて ウ、保育士の確保と処遇改善について

答弁 ア、0歳児と1歳児を合わせた新規受け入れ児童枠が440人に対し、同時点における新規利用申し込み児童数が491人となっています。イ、保護者の就労の変化や保育の必要あるなしに関わらず保育の提供を受けられること ウ、平成29年度は、国は私立保育所に対する給付費において、新たな保育士等の処遇改善を打ち出しています。本市でも円滑な当該施策の導入に努めています。

## 三、教育行政について

質問(1) 通級指導教員や支援員の配置状況について

答弁 通級教室は比較的軽度の障がいがある児童生徒に対して、その障がいに応じた学習をおこなうための教室で、本市では4小学校5学級、1中学校1学級で県費負担教職員6人の通級指導員の配置です。支援員については小学校に26人、中学校では11人、計37人の配置です。

質問(2) 多子世帯の給食費の無料化の拡大について

答弁 現在、小・中学校に3人以上の児童生徒が

在籍し、かつこれまで学校給食費に未納がない場合、3人目以降の児童生徒の学校給食費を無料として補助しています。拡大については予算確保が困難のため検討を行っていない状況です。

質問(3) 北部地域への中高一貫教育校の設置について教育長の見解を伺う

答弁 平成27年度策定の「名護市人口ビジョン及び名護市総合戦略」において人口減少に歯止めをかける一つの方策として中高一貫教育校の取り組みを掲げたところです。今後関係部課等で十分に勘案しながら県への働きかけを行います。

## 四、道路行政について

質問(1) 県営名護団地取り付け道路(県管理)の改良について

答弁 市として位置指定道路の管理者が県であることを踏まえ地域から具体的な要請があれば再度要請したい。

質問(2) 名172市道大北3号線の改良について

答弁 土地の所有を主張している方や別の方との折り合いがつかない状況です。今後も地域の協力を仰ぎながら解決に向けて取り組みたい。

## 五、産業振興について

質問(1) 沖縄近海における海洋資源開発について

ア、国立研究開発法人海洋研究開発機構の取り組みについて

答弁 沖縄本島の北西約110キロの沖縄トラフに位置している伊平屋、伊是名近海において、地球深部探査船「ちきゅう」により鉱物資源を含む海底熱水鉱床が形成される過程の解明に向けた掘削調査が行われています。

答弁 研究開発への直接的な関与はありませんが、国内拠点の一つである国際海洋環境情報センター(GODAC)が本市豊原の施設に入居しています。

### 無料法律相談のご案内

#### 公明党無料法律相談

日時 毎週土曜日 午後2時から午後4時まで  
場所 公明党沖縄県本部 (098-862-0210)  
(最終土曜日は沖縄市の金城ツトム事務所 098-921-1000)

#### 法テラスコールセンター

電話 0570-078374 平日午前9時～午後9時まで  
土曜日午前9時～午後5時まで

#### 名護市無料法律相談

日時 毎月第2、第4火曜日(祝祭日は繰り下げて開催)  
場所 名護中央公民館2階 第4研修室(電話予約可)  
受付時間 8:30～17:15(平日)相談時間 13:00～16:00  
問い合わせ先 名護市役所総務課 ☎53-1212(337)

#### 名護市消費生活無料相談室

(毎週月・木曜日 10:00～16:00)  
場所 名護市役所西棟一階守衛室内 ☎53-1212(内線 348)



新球場、命名権公募  
名護市 20年キャンプから

2019年12月末完成  
めざす新名護球場の完成  
予想図 琉球新報 2017.2.28

やさしく、深く、面白く、役に立つ  
政治を毎日わかりやすくお伝えする  
**公明新聞**を読んでみませんか?  
日刊(1ヶ月1,887円/税込)  
激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。  
お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259